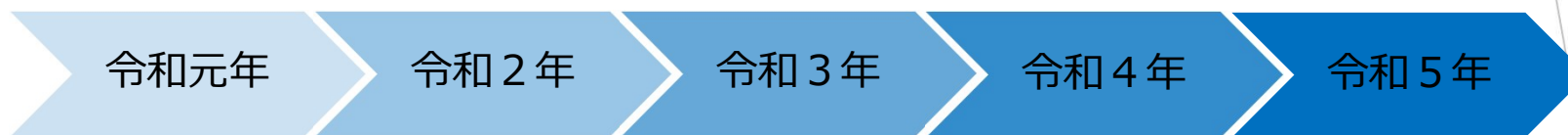


ふじみ野市総合教育会議

～GIGAスクール構想の取組について～

令和8年3月27日（金）

GIGAスクール構想 第1期 (令和元年～令和5年)



国

政府により正式にスタート

コロナ過により整備が急加速

全国で1人1台端末整備が完了

端末活用の格差の課題が顕著化

第1期の総括活用の質向上が課題に

※端末購入、国の補助金：45,000円を上限とする3分の2

本

市

790台（リース）

1900台購入
(小6・中3)
1Gネットワーク整備

6462台購入
(全児童生徒に整備完了)

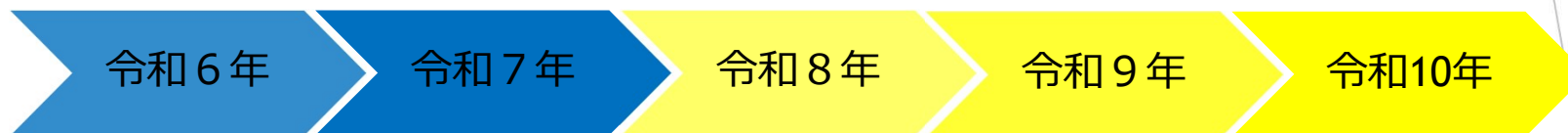
540台購入
(リース切れ対応)

各教室1台のプロジェクトは整備済

西地区のプロジェクト買い替え

ドリルソフト：eライブラリ
協働的な学び：スカイメニュー を継続使用

GIGAスクール構想 第2期 (令和6年～令和10年)



国	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
	端末更新 10Gネット移行 デジタル教科書	校務DX AI活用・検証	「使えるICTから「活かすICT」へ 生成AIへの対応、情報モラル教育の強化 学習ログの高度活用、個別最適化学習の深化		

※端末購入、国の補助金：55,000円を上限とする3分の2

本市	2684台購入	5573台購入 10Gネットワーク整備（10校）	806台購入 （全児童更新） ルータ更新	609台購入 （全生徒更新）	706台購入
	東地区のプロジェクト買い替え			西地区大型モニタ導入	
	eライブラリ（小1～小3） すららドリル（小4～中3）		CBT導入（小4～小6） 生成AIの活用研究		
	協働的な学び：スクールタクト				

小中学校のタブレット活用状況 授業での活用（スクールタクト）

▶ スクールタクトとは？

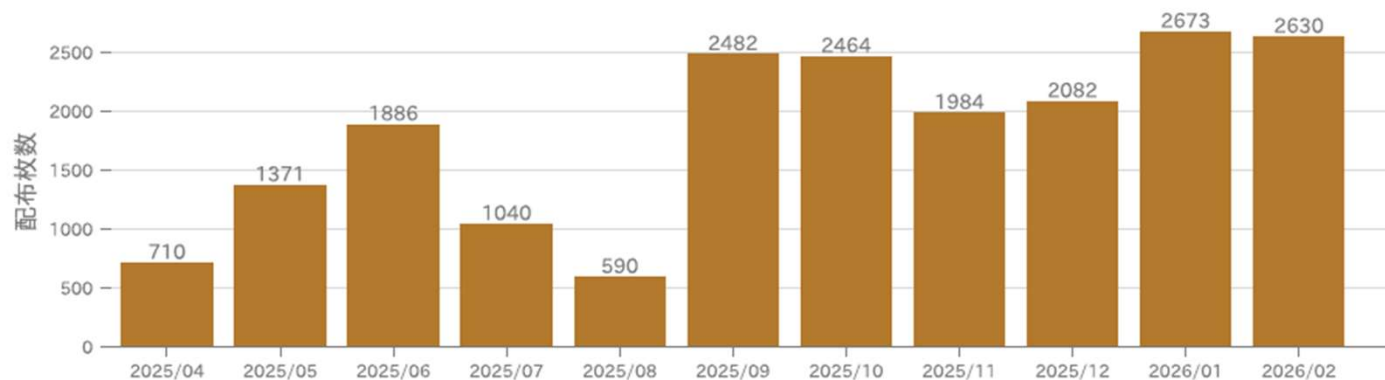
協働的な学びを強かにサポート

- ・ 児童生徒の回答をリアルタイムで一覧表示
- ・ 教員は教師用端末から学習状況を把握
- ・ グループワークや対話的な学びを促進
- ・ 「振り返りA I分析」で授業後もサポート

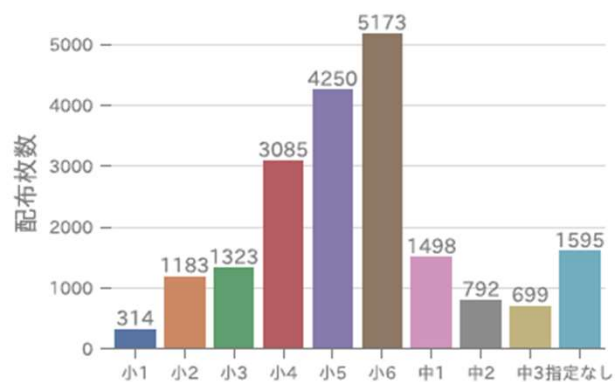


小中学校のタブレット活用状況 授業での活用（スクールタクト）

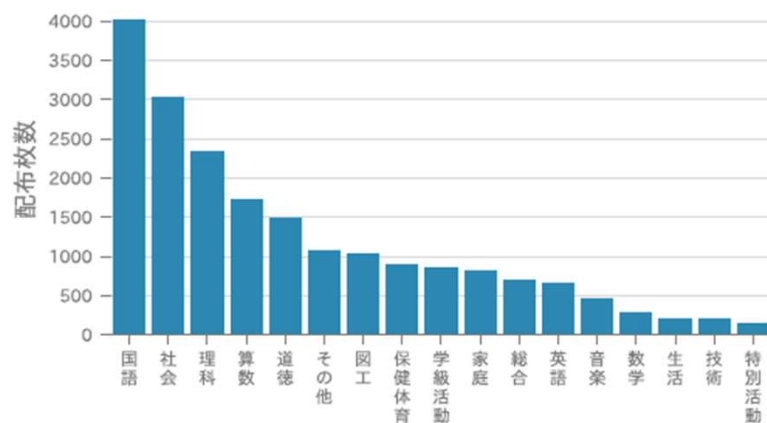
月別課題配布枚数



学年別課題配布枚数



教科別課題配布枚数



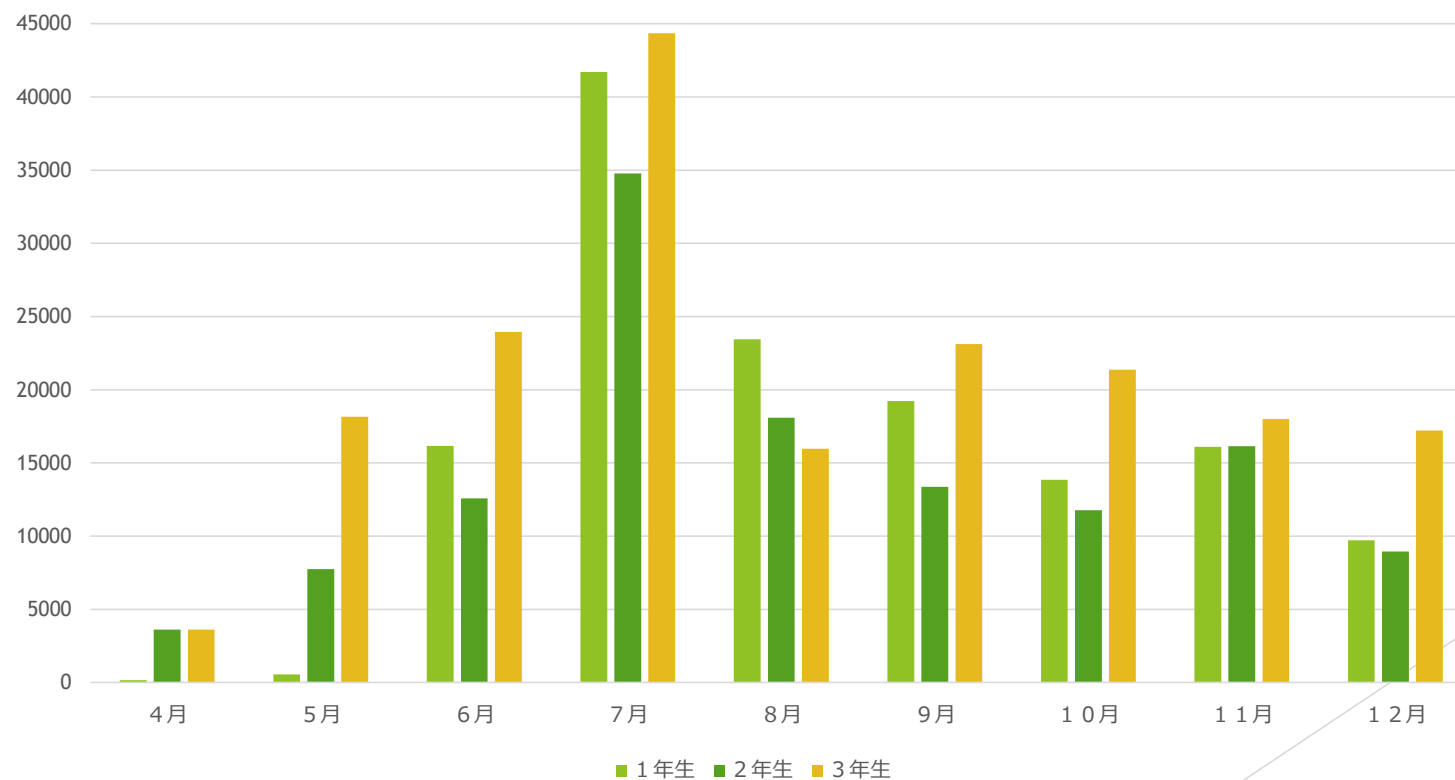
小中学校のタブレット活用状況 学校・家庭での活用（eライブラリ）

▶ eライブラリとは？（小1～小3で活用）

1. AI型ドリルで個別最適学習を実現
 - ・習熟度に応じて問題が自動的に作成
 - ・思考力育成問題や読解スキルドリルも搭載
2. 教員の授業づくりをサポート
 - ・単元の確認テストを簡単に出題
 - ・授業中に理解度チェックができる
3. 学校でも家庭でも使える
4. 学習履歴の可視化
 - ・児童の学習データを教員が確認
 - 個別指導・補充学習を計画

小中学校のタブレット活用状況 学校・家庭での活用（eライブラリ）

小学校 月別・学年別総ドリル回数



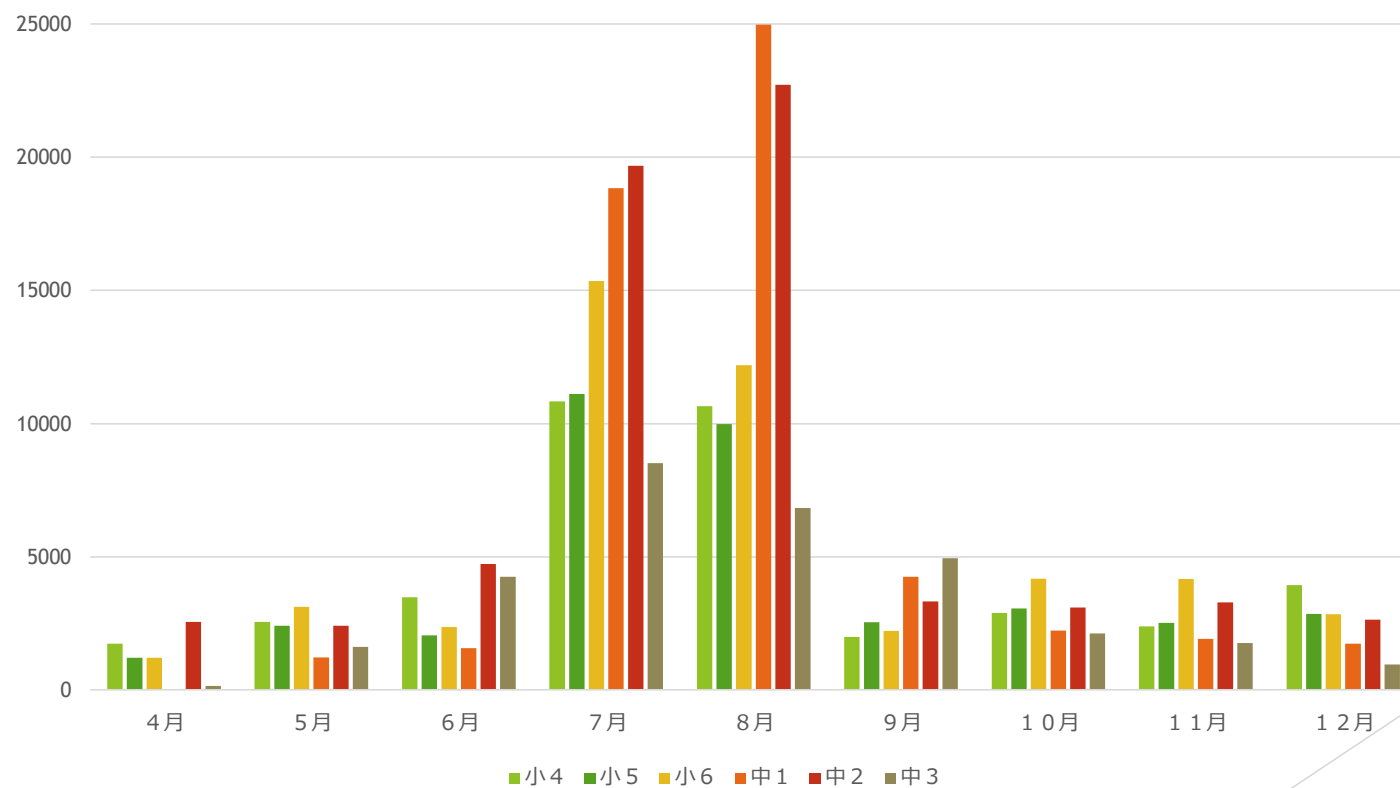
小中学校のタブレット活用状況 学校・家庭での活用（すららドリル）

▶ **すららドリルとは？** （小4～中3で活用）

1. AI型ドリルで個別最適学習を実現
 - ・学力に応じて問題の難易度を児童調整
 - ・「つまづき診断システム」で弱点を把握
2. 自動作問、児童採点のテスト機能
 - ・テスト問題を自動生成
 - ・採点も自動化され、教員の負担を軽減
3. 動画レクチャーで理解をサポート
4. 学校と家庭をつなぐ学習環境
 - ・いつでもどこでも学習でき、学習量を確保
 - ・学習ログを活用し、最適な復習を自動作成

小中学校のタブレット活用状況 学校・家庭での活用（すららドリル）

月別・学年別クリアユニット数



小中学校のタブレット活用状況 その他のソフトウェア

- ▶ **体カテストALPHA**（全学年で活用）
 - ・毎年学校で行われる体カテストの集計・県への提出
- ▶ **動画で学ぶネットモラル**（小学校で活用）
 - ・アニメーションによるデジタルシチズンシップ学習
- ▶ **DQワールド**（中学校1年生が活用）
 - ・ゲーミング要素を取り入れたデジタルシチズンシップ学習
- ▶ **ライフイズテックレッスン**（中学校で活用）
 - ・中学校技術科でのプログラミング学習とネットモラル学習
- ▶ **スクラッチ**（小学校で活用）
 - ・ビジュアルプログラミング学習
- ▶ **Microsoft365アプリ**
 - ・Word、Excel、PowerPoint、Teams 等

校務での活用

教職員の業務効率化と指導方法の改善

▶ Te-Comp@ss (校務支援ソフト)

- ・校務に係る全般を支援
(出席簿・学校日誌・指導要録・通知表・調査書 等)

▶ 百問繚乱 (デジタル採点ソフト)

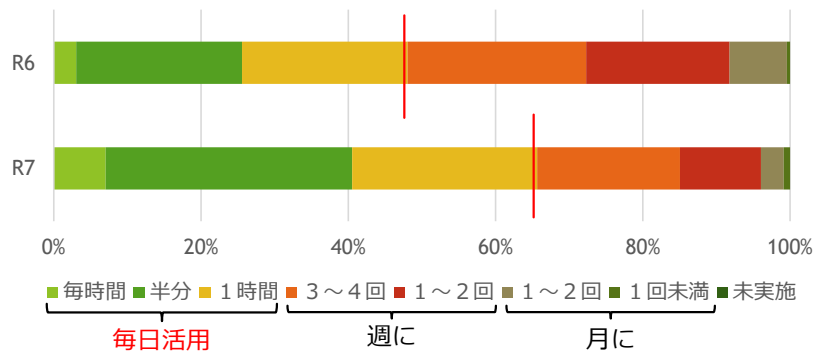
- ・紙媒体のテストを自動採点
スキャナで読み込み → 記号等は自動採点、文章等は教師が串刺し採点
- ・成績管理、分析
正答率や誤答分析を自動作成
生徒ごとの成績個票を自動作成しフィードバック
→ 教員の指導方法改善



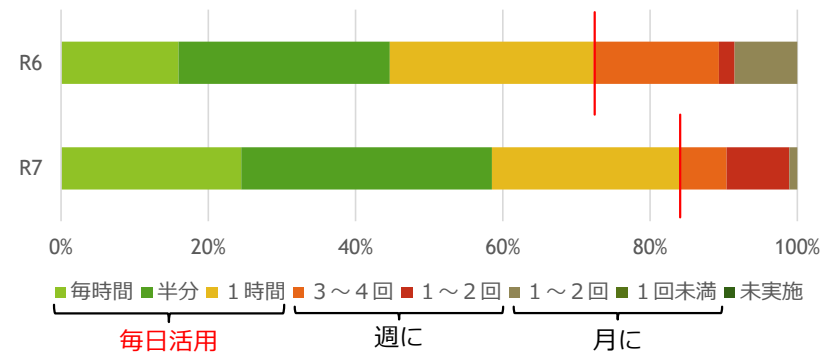
GIGAスクール構想実現に向けた進捗状況等に関する調査（令和7年12月末現在）

Q1 1人1台端末をどの程度授業で利活用しましたか **（赤線までが毎日活用）**

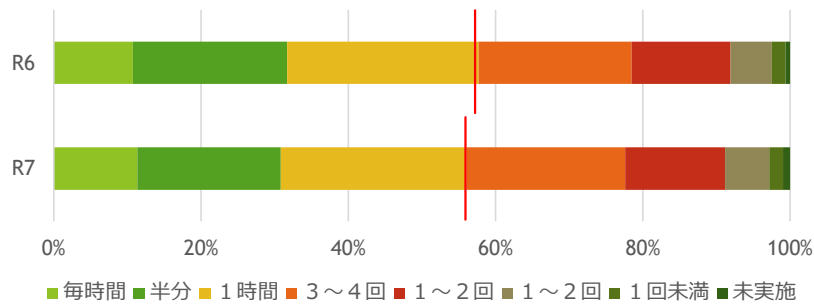
ふじみ野市 小学校



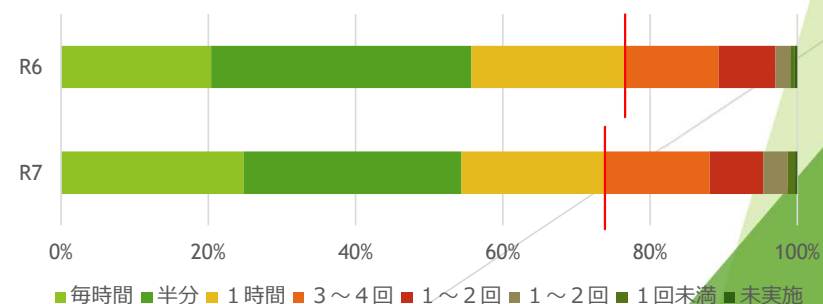
ふじみ野市 中学校



埼玉県 小学校



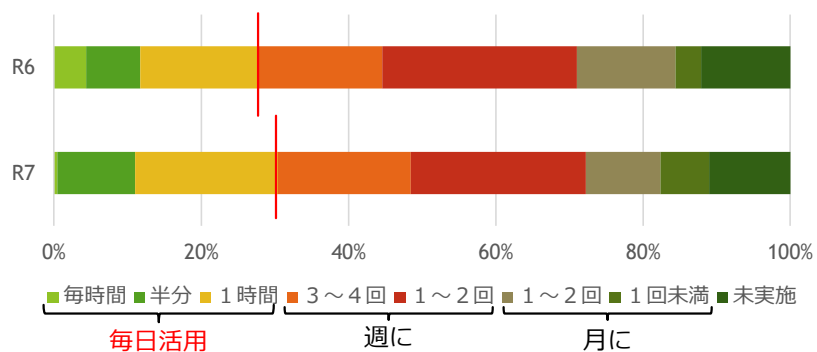
埼玉県 中学校



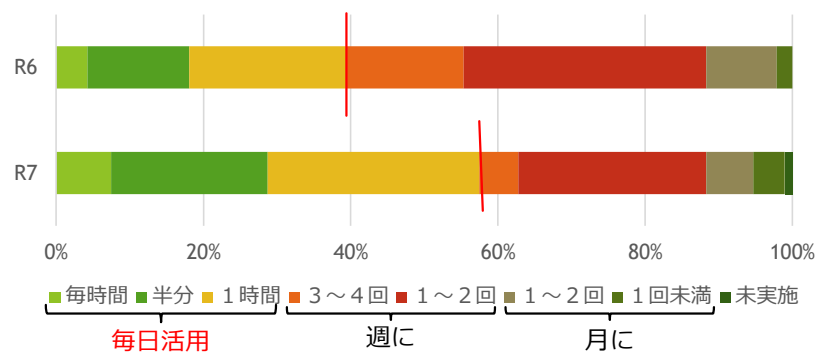
Q2 児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、1人1台端末をどの程度使用しましたか

(赤線までが毎日活用)

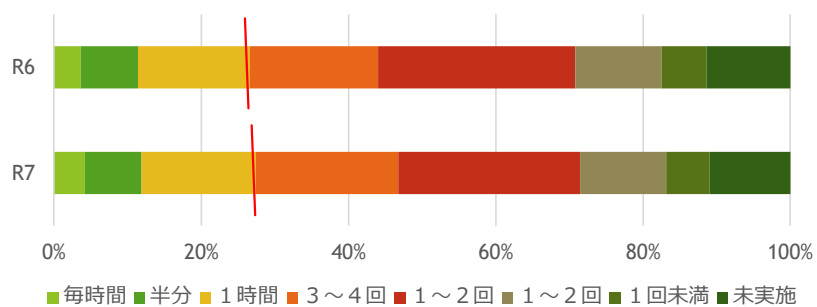
ふじみ野市 小学校



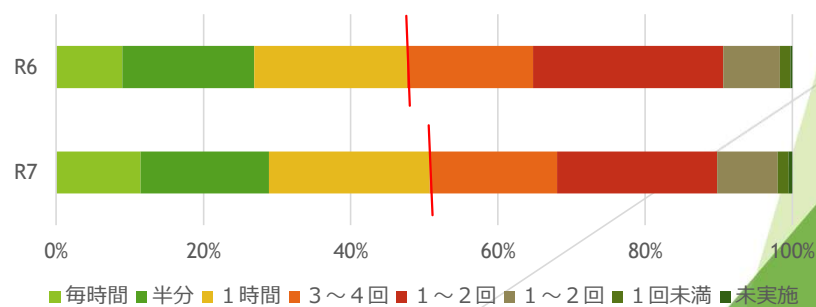
ふじみ野市 中学校



埼玉県 小学校

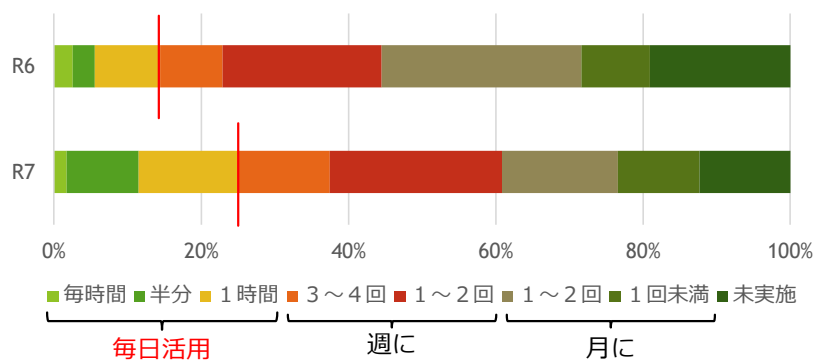


埼玉県 中学校

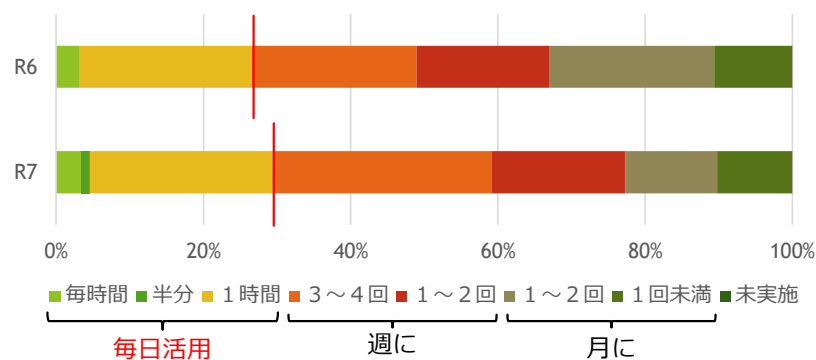


Q3 児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、
1人1台端末をどの程度使用しましたか
(赤線までが毎日活用)

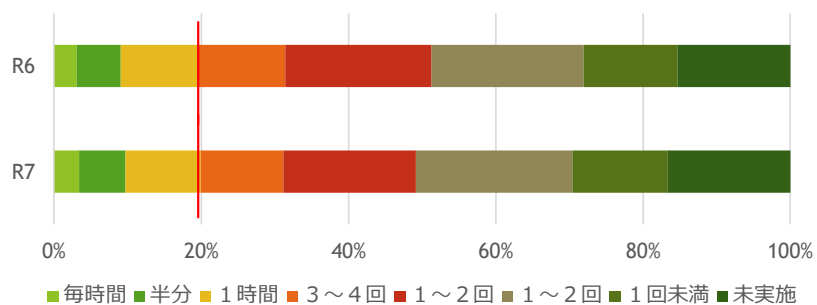
ふじみ野市 小学校



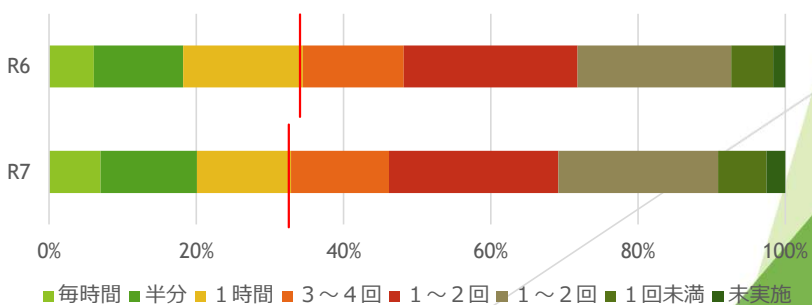
ふじみ野市 中学校



埼玉県 小学校



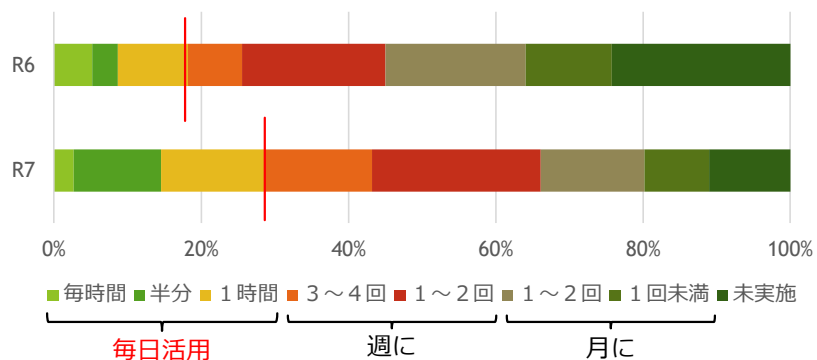
埼玉県 中学校



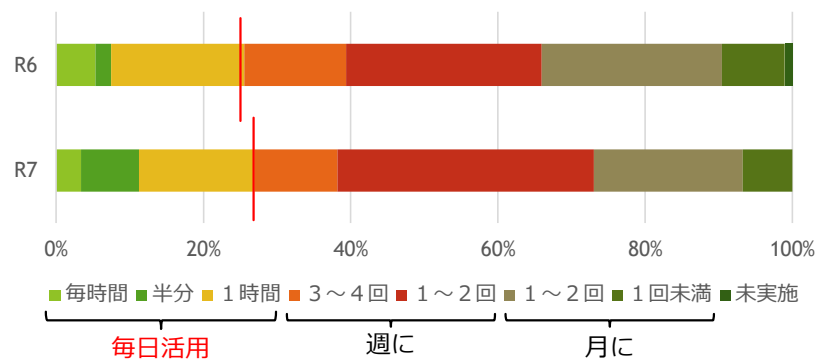
Q4 教師と児童生徒がやり取りする場面では、1人1台端末を どの程度使用しましたか

(赤線までが毎日活用)

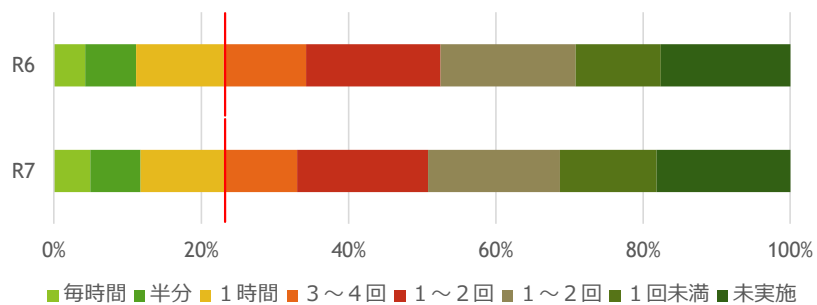
ふじみ野市 小学校



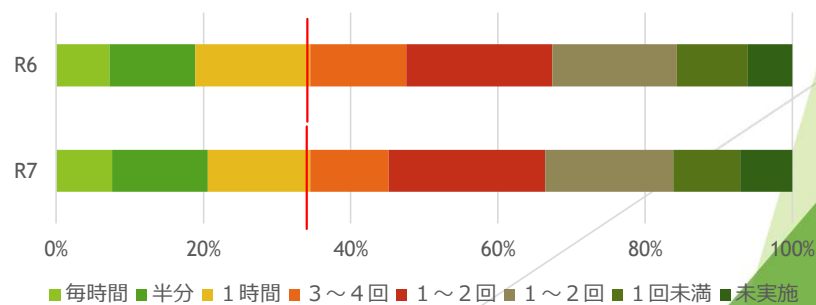
ふじみ野市 中学校



埼玉県 小学校



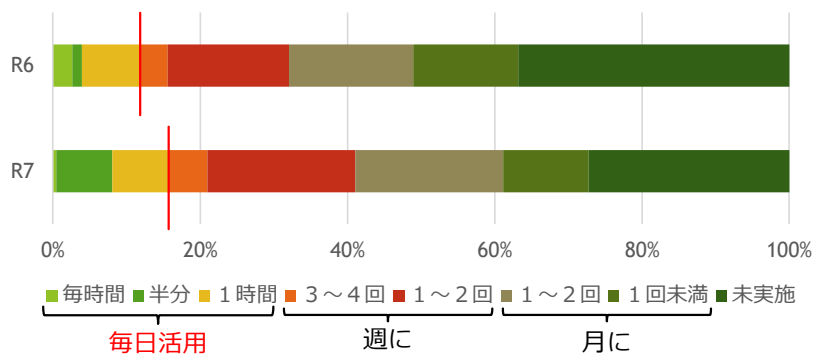
埼玉県 中学校



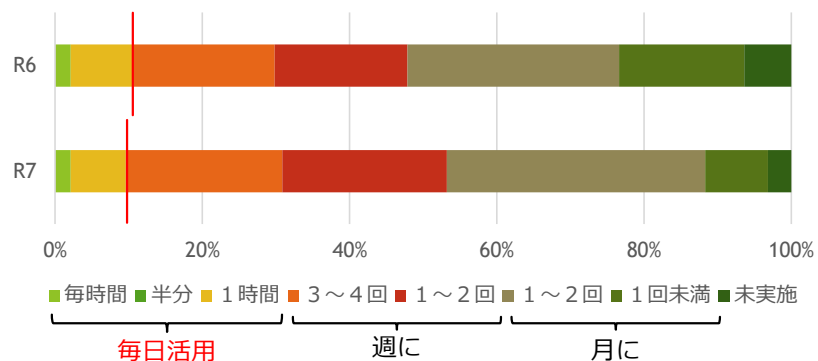
Q5 児童生徒同士がやり取りする場面では、1人1台端末をどの程度使用しましたか

(赤線までが毎日活用)

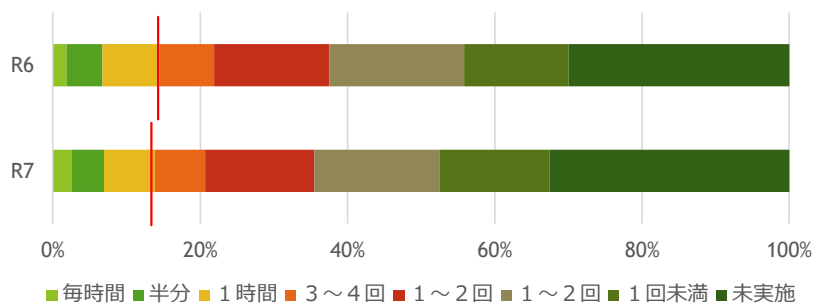
ふじみ野市 小学校



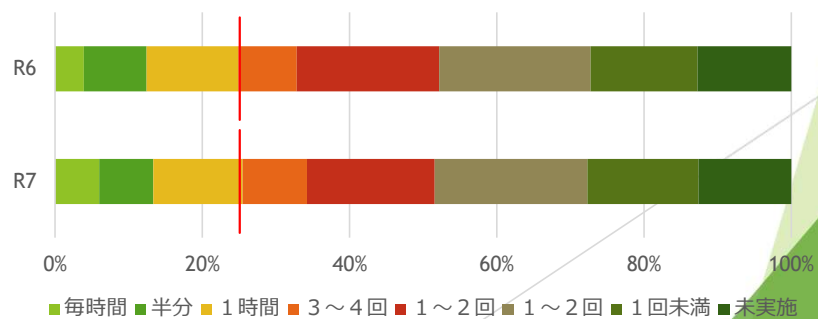
ふじみ野市 中学校



埼玉県 小学校

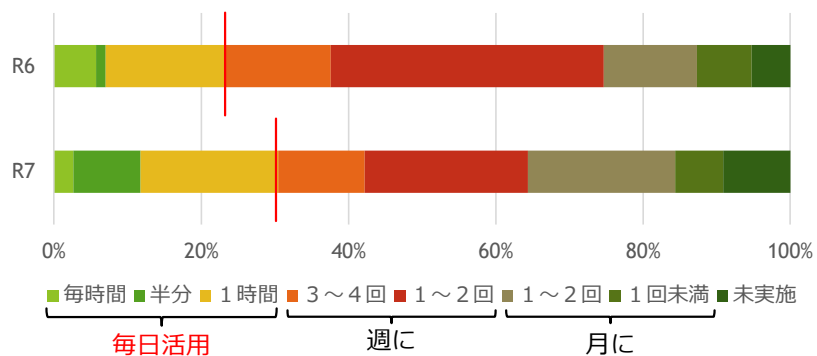


埼玉県 中学校

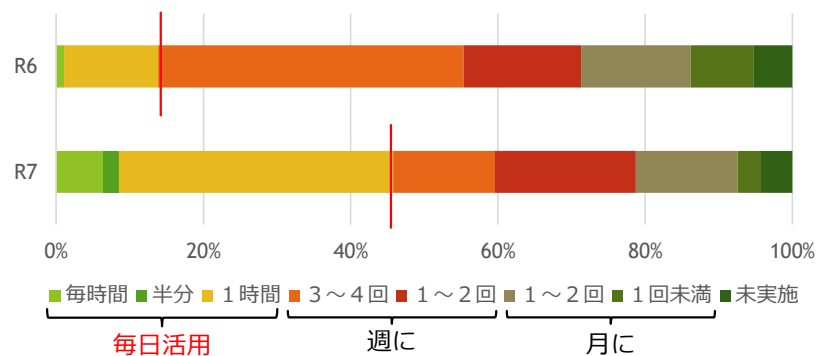


Q6 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、1人1台端末をどの程度使用しましたか（赤線までが毎日活用）

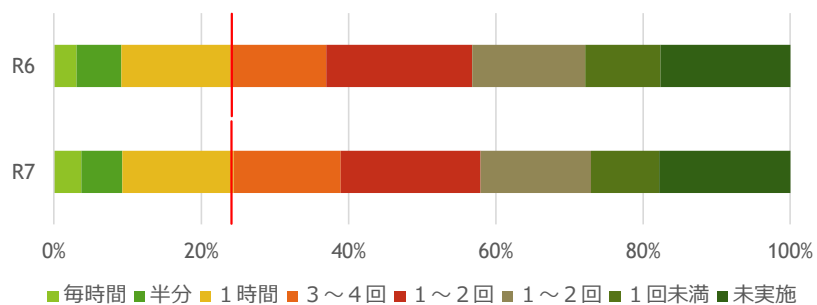
ふじみ野市 小学校



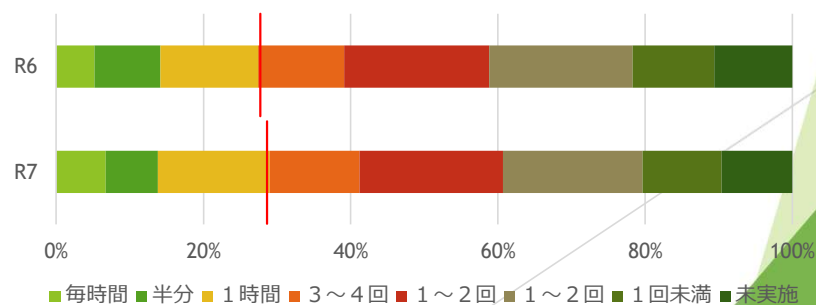
ふじみ野市 中学校



埼玉県 小学校



埼玉県 中学校



1人1台タブレット端末の利活用を高めるための取組

▶ 「ICT活用推進計画」の作成（右図）

- ・活用目標値の設定
- ・目標に迫るための手立てを学年毎に作成

▶ GIGAスクール推進主幹による年度当初学校訪問

- ・校長、教頭との話し合い
- ・研修計画の作成 等

▶ GIGAスクール推進主幹による授業支援

- ・プログラミング授業 等

令和7年度 ふじみ野市立〇〇小学校 ICT活用推進計画

情報活用能力の育成			
ICT活用能力の育成	プログラミング教育の推進	情報モラル教育の充実	
児童がICTを効果的に活用する授業が計画的に進められるようになります。	時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」を育みます。	情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を育みます。	
ICT（タブレット端末等）利活用目標（毎日活用）			
状況	埼玉平均	R6結果	R7目標
1 平時における端末持ち帰り	30%	40%	70%
2 平時の授業におけるICTの利活用	58%	60%	80%
3 児童が自分で調べる場面におけるICTの利活用	27%	26%	50%
4 自分の考えをまとめ発表・表現する場面でのICT活用	19%	20%	30%
5 教員と児童がやり取りする場面におけるICT活用	23%	0%	30%
6 児童同士がやり取りする場面でのICT活用	15%	0%	30%
7 自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面	24%	40%	50%
目標に迫るための手立て			
低学年	中学年	高学年	
各教科・領域 ・カメラ機能で写真や動画を撮影 ・手書き入力、変換ができる ・キーボード入力、変換ができる ・プロジェクト等を用いて自分の考えや意見を発表する ・伝えたいことを順番を決めて発表する ・スクールタクトで情報を比較し、似ているものと違うものに分類する プログラミング教育 ・「ビスケット」「スクラッチ」Eを使って自分の意図する動きをプログラムする 情報モラル教育 ・インターネットを使うためのルールやマナーについて話し合う 家庭学習 ・家の人と一緒にeライブラリに取り組む ・夏季休業中の課題に取り組む	各教科・領域 ・ローマ字入力、変換ができる ・必要な情報をインターネットで収集する ・データを保存し、保存ファイル内を整理する ・プレゼンソフト等を使って文字や写真を入れた作品をつくる ・理由や例をあげて発表する ・スクールタクトで自分の考えを示し発表する プログラミング教育 ・「スクラッチ」を使って簡単なプログラミングをする 情報モラル教育 ・IDやパスワードの大切さを知る ・写真を撮るときには許諾を得ることについて話し合う 家庭学習 ・自主的にeライブラリやすららドリルに取り組む ・夏季休業中の課題に取り組む	各教科・領域 ・写真や動画を編集できる ・キーワード検索ができる ・表計算ソフト等を使って表やグラフにまとめ発表する ・話す内容に合わせて資料を作る ・スクールタクトを使いグループで協議ができる ・活動を振り返り、評価できる ・フォームアプリを使い、簡単なアンケートをとることができる プログラミング教育 ・算数でプログラミングによる多角形の作図を行い深く理解する 情報モラル教育 ・メールやSNSの使い方について話し合う ・情報の正確さを判断する 家庭学習 ・自分が理解できていないところをすららドリルで学習する ・夏季休業中の課題に取り組む	

課題

- ▶ タブレット端末利活用状況の学校間格差
 - ・特に中学校間では「スクールタクト」「すららドリル」の活用に差
- ▶ 同一学校内での学年・学級間の利活用の格差
 - ・特に小学校では「ドリルソフト」の活用の差が大きい
- ▶ 同一学校内での教科間の利活用の格差（中学校）
 - ・特に「すららドリル」は活用の差が大きい
- ▶ 特別支援学級での利活用方法の研究
 - ・本来、特別支援教育での活用は効果大きい

来年度以降に向けて

▶ 小学校単元テストのC B T化（4年生～6年生）

- ・ 個別最適な学びの推進
- ・ 保護者負担の軽減
- ・ 教員の創造的な時間及び子供と向き合う時間の確保
- ・ 教育課程の管理、教員の管理
- ・ 指導法の改善

▶ 中学校すららドリルの活用促進

- ・ すららドリル → すららi 単元テストのC B T化
- ・ 4月にすららドリル活用研修会を計画

▶ 生成A Iの活用研究

- ・ 校務での活用（学年・学級便り、学習指導案、保護者宛通知等の作成）
- ・ 授業での活用（思考力・判断力・表現力の育成、探究的な学習補助）

▶ インターネット回線の増強

- ・ 現在1 G回線のみ → 10校に10G回線を増設

GIGAスクール構想から 期待されること

子供たちが自分らしく学べる環境づくり
教職員のより創造的で効果的な教育環境

今後もふじみ野市のGIGAスクールをさらに推進してまいります

ご清聴ありがとうございました